

めぐみイエス・キリスト教会

2020年5月10日(日)第二主日礼拝
週報「通算第506号」



2020年標題聖句

第 I テサロニケ5章16節~18節

《いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。》

第一礼拝(各家庭にて)	毎週日曜日	午前10時~11時
第二礼拝※中止	毎週日曜日	午後6時~7時
聖書の学びと祈り会	毎週水曜日	午後6時15分~7時15分

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2020年5月10日 第二主日礼拝 午前10時

◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌395「主はガリラヤ湖の」 p. 634

【交読文】 No.55 ヨハネの福音書15章 p. 923

【賛美Ⅱ】 新聖歌325「歌いつつ歩まん」 p. 515

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル賛美「父なる神の愛」

【聖書朗読】 使徒の働き1章9節～11節(新約p. 208下段)

【聖書研究】 《主イエス・キリストの昇天》

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【黙祷後奏】

※本日の聖書箇所 使徒の働き1章9節～11節

1:9 こう言ってから、イエスは彼らが見ている間に上げられ、雲に包まれて、見えなくなられた。

1:10 イエスが上って行かれるとき、弟子たちは天を見つめていた。すると、見よ、白い衣を着た人がふたり、彼らのそばに立っていた。

1:11 そして、こう言った。「ガリラヤの人たち。なぜ天を見上げて立っているのですか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たときと同じ有様で、またおいでになります。」

◎聖書研究と分かち合い

①主は、弟子たちに二回に渡ってご自身の「昇天」の預言をされました。

そしてオリーブ山において、弟子たちの見ている間に天に上って行かれます。なぜ主はそうされたのでしょうか。その意味と目的は何ですか？

※主イエスの昇天の預言 I (ニコデモと弟子たちへの言葉から)

『「だれも天に上った者はいません。しかし天から下った者はいます。すなわち人の子です。モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子もまた上げられなければなりません。それは、信じる者がみな、人の子にあつて永遠のいのちを持つためです。」』(ヨハネの福音書3:13～3:15)

※主イエスの昇天の預言 II (パリサイ人と弟子たちへの言葉から)

『これは、イエスがカペナウムで教えられたとき、会堂で話されたことである。そこで、弟子たちのうちの多くの者が、これを聞いて言った。

「これはひどい言葉だ。そんなことをだれが聞いておられようか。」

しかし、イエスは、弟子たちがこうつぶやいているのを、知っておられ、彼らに言われた。

「このことであなたがたはつまずくのか。それでは、もし人の子がもといた所に上るのを見たら、どうなるのか。」(ヨハネの福音書6:59～6:62)

②二人の御使いが言われたことは、何を意味しているのでしょうか。旧約聖書ゼカリヤ書における預言をも参考にして考えて見て下さい。

『その日、主の足は、エルサレムの東に面するオリーブ山の上に立つ。オリーブ山は、その真中で二つに裂け、東西に延びる非常に大きな谷ができる。山の半分は北へ移り、他の半分は南へ移る。

山々の谷がアツアルにまで達するので、あなたがたは、私の山々の谷に逃げよう。ユダの王ウジヤの時、地震を避けて逃げたように、あなたがたは逃げよう。私の神、主が来られる。すべての聖徒たちも主と共に来る。』(ゼカリヤ書14:4～14:5)

③今現在の世界において、この次に成就する聖書の預言は何ですか。

※第 I テサロニケ4章13節～18節(新約p.366 下段右側)参照のこと。

◎先週のメッセージの概要【私の証人とは？】

《今日から使徒の働きに戻ります。イエス様は復活されてから40日目に、オリーブ山に十一弟子たちを連れて行きました。「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれる時、あなたがたは力を受けます。そしてエルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てまで、私の証人となります。」

最後の晩餐において、主は聖霊について、このように教えられました。「私は父にお願いします。父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと共におられる為に。その方はあなたがたと共に住み、あなたがたのうちにおられるからです。」

大切な事は、「この方」と主が言われたことです。聖霊は創造主ヤーヴェの第三位格のお方で神様なのです。人格を持っておられるのです。

それでは、「あなたがたは力を受けます」と言われた「力」とは、何の力なのでしょう。ガリラヤ伝道の初期の頃、主は十二弟子をユダヤの町や村に遣わされた事がありました。それは、汚れた霊どもを追い出し、あらゆる病気、あらゆるわずらいを直す為であって、その権威をお授けになったのです。この権威こそが力であって、それは聖霊の御業なのです。

次に「地の果てにまで、私の証人となります。」と約束されましたが、私の証人とは、何を証しする人々の事でしょうか。使徒ヨハネによりますと、『「私が父のもとから遣わす助け主、すなわち父から出る真理の御霊が来る時、その御霊が私について証しします。あなたがたも証しするのです。初めから私と一緒にいたからです。」』と書き記されています。すなわち主イエス様を証しするのです。十字架に掛けられ死なれ、3日目によみがえられ、今も生きておられる主イエス様を証しするのです。

「あなたがたは、これらのことの証人です。」

弟子たちがそうであったように、私たちにもこの使命が授けられています。私たちも日本の滅び行く人々に遣わされた「主の証人」なのです。》

◎お知らせ

※主日礼拝は、5月17日(日)・24日(日)・31日(日)は、各家庭にて行ないません。また聖書の学びと祈り会も、5月13日(水)・20日(水)・27日(水)は、各家庭にて行ないません。その後は政府の自粛要請の状況しだいです。